

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年5月27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3990600045
法人名	医療法人 みずほ会
事業所名	グループホーム すさき
所在地	〒785-0030 高知県須崎市多ノ郷甲5741
自己評価作成日	平成22年1月22日
評価結果市町村受理日	平成22年6月4日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成22年2月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3990600045&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

当事業所は、母体である診療所が隣接しており、医療連携がスムーズに出来ている。また、ボランティアの方々の受入れを積極的に行えるよう、併設の通所リハビリと合同で受入れを行っている。ホームでは利用者が生まれ育った地域で多くの方々との交流を深めていけるよう、地域とのつながりに努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

管理者と職員は、事業所の運営理念である「個人個人の思い」を大切に、自分らしく生活できるように利用者本位のケアを目指して、よく話しあい、研修等で学んだことを共有し、一つ一つ実践を積み重ねている。隣接する母体法人の診療所との医療連携体制が確立しており、利用者も安心して日々の暮らしを送っている。また、家族がボランティアとして行事等に協力しており、今後も、さらに、地域や家族と共に利用者を支え合いながら、地域密着型の事業所としての発展が期待される。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>職員の採用時に、理念の目的を理解してもらえよう説明している。また、日々のケアの中で、地域での生活の質の向上など、理念に沿ったケアに取り組んでいる。</p>	<p>地域密着型サービスとして独自に作り上げられた理念があり、毎月のスタッフ会やユニット会で理念を振り返り、日々のケアに活かしている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>公民館行事への参加や、地域のボランティアの協力で、事業所の行事を通じて交流している。また、家族もボランティアとして協力している。</p>	<p>町内会に加入し、地域の行事に参加している。地域住民の方が野菜を持ってきてくれたり徐々に関係が広まってきている。併設のデイサービスセンターと協働してボランティアを募るなど、地域との協力関係を築いている。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域包括支援センターが取り組んでいる民生委員を対象にした徘徊模擬訓練で、サポーター役として協力している。</p>	/	/
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>事業所の状況の報告、取り組んでいる内容等について意見や助言を頂き、サービスの向上に努めている。</p>	<p>事業所からの報告と参加メンバーからの意見等双方向的な会議になるよう配慮している。今後、消防署や警察署に委員として参加してもらい、災害対策を充実することとしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村の担当者と、日頃から相談を行い、助言を受けられるようにしている。	市の担当者には日頃の取り組みなどを相談している。地域包括支援センターが開催する認知症ケア研修会への参加や徘徊模擬訓練の協力など、関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内研修を行っており、また、スタッフ会などでも日常のケアで自覚していないケアが行われていないか、話し合うなど、職員同士が注意し合っている。	身体拘束をしないケアについて法人のスキルアップ研修会等で理解を深めている。また、スタッフ会等で日常の取り組みについて話題にあげ、職員同士で互いに気をつけ合っている。家族には契約時などに身体拘束をしないリスクについて説明している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止関連の研修を受け、スタッフ会などで伝達し、職員に意識づけを行い、虐待のない取り組みを徹底している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度についての研修を受けており、理解を深めている。社会福祉士資格のある職員に相談に乗ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や改正の際には、理解を得られるよう疑問はないか、尋ねながら説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護相談員の定期訪問時に相談してもらう機会がある。入居者の発する言葉や行動からその思いを察し、傾聴するように努めている。また、家族訪問時に、話し合う機会を持ち意見要望を聞いている。	介護相談員が3カ月に1回利用者の声を聴く機会がある。また、行事等に併せて家族会が開催され、意見を聞いているが、家族だけの話し合いの場は設定していない。	家族は身内が世話になっていることから、意見等を言い出し難しいことを理解し、家族会の際に家族だけで話し合いをする場を設け、気軽に意見をだしてもらうことを期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職場内の意見については毎月のスタッフ会や日々の業務の中で聞いている。問題があれば、その都度話し合いを行っている。	利用者の重症化に伴うケアの工夫など気づきやアイデアをスタッフ会で話し合い、共有し実践している。管理者と職員は日々の業務の中で話し合う機会があり、法人に意見を提案する仕組みもある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己評価表を基に努力、実績を給与等に反映している。資格取得した場合には正職員への登用もしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修時間の取り組みと、外部研修の機会を設け、職員の育成を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	同業者との交流の機会を設け、意見交換等を通じて、サービスの向上に活かしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	入居までに見学に来ていただき、雰囲気を感じてもらい、安心して暮らせる雰囲気づくりや、信頼関係を築くように努めている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	相談時には、十分に時間をとり、不安や要望を受け止め、信頼関係を築くよう努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	相談時に、ご本人、ご家族と良く話し合い、状況を確認したうえで、ニーズに沿ったサービスが受けられるよう配慮し、地域包括支援センターに繋げるなど対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>共に楽しく暮らす者同士として、ケアは一方的なものではないということを職員が実感し、振り返りながら取り組んでいる。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>共に支えあう関係づくりに取り組んでおり、一方向と感ずることのないよう配慮している。家族にボランティアとして参加していただくなど、負担とならない自然な協力関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>地域の行事に参加したり、利用者の行きつけ場所やふるさと訪問で、馴染みの方と触れ合ったりしている。外出や買い物時にも行きつけの場所に立寄ったりしている。友人や知人の方が面会に来てくれている。</p>	<p>利用者の家の近くの量販店に買い物に行ったり、ふるさと訪問時に知り合いの方と交流している。また、知人、友人の訪問を受けるなど、これまでの関係を継続するよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士で馴染みの関係が形成されていたり、その時の状況によって、スタッフが調整役となって関わっている。一人で過ごす時間を大切にしながら、孤立していないかを見極め、見守りをしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約を終了しても面会したり、近況を聞かせて頂いたり、できるだけ継続した関わりが出来るように心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いを表現しづらい方についても、表情や、その方なりの訴えなど色々な面から得られることを手がかりに意向の把握に努め、スタッフ間で共有している。	一人ひとりの声を折に触れて聞くようにしている。特に男性は自分の気持ちを言わない傾向があるので気長に接するようになっている。意思の確認が困難な場合は、事前に把握している楽しみごとなど念頭に、表情や仕草から思いを汲み取るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居後も利用者に話を聞いたり、家族や知人等の面会時に少しずつ聞き取り、把握に努めている。また、利用者が話しやすい環境づくりとして、ふるさと訪問や馴染みの場所へ外出し、情報を得るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日の中でも、変化する状態を見逃すことの無いよう、現状の把握に努め、その都度、適確に対応出来るようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の関わりの中で得た情報を共有し、利用者や家族の何気ない一言が適確な支援へとつながることも多く、すべての関係者が意見を出し合える関係を第一に考え、カンファレンスにつなげ、介護計画に反映させている。	利用者、家族の意見を、担当職員が中心となって、アセスメントやモニタリングを実施し、職員全員でカンファレンスを行い、介護計画を作成している。3カ月毎の見直しを基本とし、必要に応じて随時見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別ファイルを活用し、食事や排泄など利用者の状態の変化を記録し、申し送りやミーティング、日誌を活用して情報を共有し、実践につなげている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者や家族の意向をもとに、看取りや医療連携体制を活かし、安心、安楽な生活が継続出来るように支援していく。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>公的な機関やボランティアに依頼したり、協力し合い、地域での生活が継続できるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に、利用者や家族、かかりつけ医と相談し、訪問診療に移行しているが、専門医に受診が必要な場合は、他の医療機関に受診しており、適切な対応ができるよう支援している。状態の悪い時などには常時医療機関との情報交換、受診を行い、健康管理に努めている。</p>	<p>希望するかかりつけ医に受診できるように支援している。家族等の判断で協力医に移行している場合もある。通院介助は原則家族対応としているが、隣接する協力医療機関への通院は職員が対応している。受診結果は家族と電話等で連絡し、職員間は介護記録や申し送りで共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携体制により、協力医療機関の看護師が週1回訪問している。日中の状態や疑問に思う所など書面にて提示し、指示を受けたり、情報交換に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院された際には、相談員と情報の共有、現在の状態の把握に努め、退院後の支援についても、注意事項などの確認を行い、病院との関係を築いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に、重度化した場合の対応指針に基づき、事業所が対応出来るケアについて説明し、同意を得ている。	看取り及び重度化に関する指針を作成しており、入居時に説明し、支援方針について同意を得ている。これまでに看取りの事例（2例）もあり、家族の意向に沿って医師、看護職、職員が連携して対応できる体制が整っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修への参加を行い、スタッフ会で伝達しているが、訓練は行っていない。関連事業所内では、急変や事故発生時の対応などの勉強会を全スタッフ対象に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策マニュアルを作成し、年2回の避難訓練を実施している。	年2回の避難訓練を実施しているが、地域住民の参加、協力は得られていない。2階の避難器具等の設置や消防、警察などの参加による体制の強化を検討している。非常用の飲料水等は高知県社会福祉施設地震防災対策マニュアルの目安の数量を準備している。	災害時には、地域住民の参加、協力が欠かせないことから、運営推進会議を通じて地域に働きかけ、さらに地域と連携が図られるよう取り組むことを期待したい。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりを理解し、その時々合った心地良い言葉かけであるよう、意識して行っている。ユニット会などでも振り返りを行い、意識の継続によりプライバシーの確保に努めている。	一人ひとりのサイン等を見守りながら、排泄や入浴介助など、さりげなく声かけしている。プライバシーの保護について、ユニット会などで折に触れ話し合い、職員に徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望を表しやすい雰囲気づくりに心がけ、できる限り支援することで、より利用者一人ひとりを理解できるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが個人の状態等に配慮しながら対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みの洋服や化粧品を買いに出かけたりしている。理容は、家族の協力も得て利用者の望む店に行ったり、地域の訪問理美容を利用している方もいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りにはそれぞれの得意分野で関わってもらえるように支援している。一緒に準備し一緒に食べることの楽しさを大切に、支援している。	各ユニット単位で献立をたて食材を注文している。料理の下準備、味見、食器の片付けなど、利用者の能力に応じて職員と一緒にしている。職員は利用者と一緒に同じ食事を食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量は、チェック表を用いて把握している。献立については管理栄養士の指導を受けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛けや個々に応じた援助を行っている。夜間は義歯を預かり保管している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のサインやパターンを把握し、トイレ誘導を行い、トイレで排泄ができるように促している。	オムツ使用者の排泄パターンを把握し、できるだけトイレで排泄するよう声かけのタイミングなどに工夫して取り組み、尿取りパットやフィットパンツに改善できた事例もある。また、夜間は個々に応じてポータブルトイレを使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>朝、コップ1杯の牛乳や冷水を飲み、下剤の服用が減り、自然便が多くなった。また、十分な水分飲用と運動、入浴時には腹部のマッサージを行うなど、便秘予防を心掛けている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>毎日入浴できる体制はとっており、拒否があれば無理強いはいないようにしている。</p>	<p>毎日入浴できる体制にあるが、平均2～3日に1回入浴される利用者が多い。入浴を拒む利用者には、タイミングを見計らって声かけするなど工夫している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中はできるだけその方に合った活動の支援を行い、安心して過ごすことにより、夜間の安眠につながるよう心掛けている。状態に応じ、日中の休息、援助を行い、体調の維持ができるよう支援し、寝付きにくい方には足浴なども行い、一人ひとりに合わせた支援を行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人別に薬の説明書をファイルにし、職員がいつでも確認できるようにしている。新しく薬が追加された時や内容が変わった時には副作用についても把握しスタッフ間でも共有している。薬が変わった場合には、薬の副作用などの情報も全スタッフが把握し、経過観察を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>生活歴や現状の力を把握し、負担と感せず楽しむことが出来る程度の家事をお願いしたり、趣味や昔好きだった事柄、手芸や歌、踊りを楽しんでいる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>散歩を毎日の日課とし、希望時や声掛けで買い物などに出かけている。ドライブは、天気の良い時には出掛けられる体制をとっている。</p>	<p>散歩は毎日出かけており、希望に沿って買い物や近くの神社詣に出かけている。車椅子の方も専用車を利用して外出している。また、家族交流会の時を利用して外食に出かけたりしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を所持する事で安心されている方もおり、家族と話し合い、いくらか持っている利用者もいる。主に事務所で管理しているが、いつでも買い物希望時や外出時に利用できるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望があれば電話を掛ける支援も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の飾りは利用者も一緒に行い、季節の移り変わりを感じられる時間と空間の共有を心掛けている。光や明るさ、音に関しては、こまめに調整を行い、一人ひとり心地良い時間が過ごせるよう、配慮している。</p>	<p>明るい部屋にテーブル、イス等を配置し、季節の花が飾られ、壁に貼られたお雛様のきり絵で季節感を採り入れるなど、利用者がゆっくりくつろげる共用空間になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>廊下の隅には長いすを設け、ベランダにはベンチを置き、準共用スペースとして活用しており、思い思いに過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>契約時に、出来るだけ自宅で使用していた馴染みのある家具や生活用品、思い出がある物の持込を依頼している。写真やアルバム、趣味の物を楽しめるよう、家族と共に工夫をしている。</p>	<p>ベットは事業所が設置しているが、使い慣れた馴染みの家具や用品を持ち込み、家族の写真を飾るなど、利用者が家庭的な雰囲気の中で、居心地よく過ごせるよう配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>様子観察を行い、問題になっていることを話し合い、少しでも自立した生活ができるようにしている。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名： (青空)	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員の採用時に、理念の目的を理解してもらえよう説明している。また、日々のケアの中で、地域での生活の質の向上など、理念に沿ったケアに取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	公民館行事への参加や、地域のボランティアの協力を得て、事業所の行事を通じて交流している。また、家族もボランティアとして協力している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括支援センターが取り組んでいる、民生委員を対象にした徘徊模擬訓練でサポーター役として協力している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の状況の報告、取り組んでいる内容等について意見や助言を頂き、サービスの向上に努めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村の担当者と、日頃から相談を行い、助言を受けられるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>事業所内研修を行っており、また、スタッフ会などでも日常のケアで自覚していないケアが行われていないか、話し合うなど、職員同士が注意し合っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止関連の研修を受け、スタッフ会などで伝達し、職員に意識づけを行い、虐待のない取り組みを徹底している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度についての研修を受けており、理解を深めている。社会福祉士資格のある職員に相談に乗ってもらっている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時や改正の際には、理解を得られるよう疑問はないか、尋ねながら説明を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>介護相談員の定期訪問時に相談してもらう機会がある。入居者の発する言葉や行動からその思いを察し、傾聴するように努めている。また、家族訪問時に、話し合う機会を持ち意見要望を聞いている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職場内の意見については毎月のスタッフ会や日々の業務の中で聞いている。問題があれば、その都度話し合いを行っている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>自己評価表を基に努力、実績を給与等に反映している。資格取得した場合には正職員への登用もしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の研修時間の取り組みと、外部研修の機会を設け、職員の育成を図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>同業者との交流の機会を設け、意見交換等を通じて、サービスの向上に活かしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面談し、入居に伴う環境変化や不安に思っていることの緩和に努めるようにし、入居者と一緒に入所の準備をしている。知り得た情報は、早い段階からスタッフとも共有して、スタッフの準備も整えている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談や訪問を行い、ご家族に理解と納得をいただき、不安の緩和や解決できる対策を考えたり、話し合う場を設け、信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に、ご本人、ご家族と良く話し合い、状況を確認したうえで、ニーズに沿ったサービスが受けられるよう配慮し、地域包括支援センターに繋げるなど対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の間関係を築いている	共に楽しく暮らす者同士として、関わりを持っている。人生の先輩として、家事や掃除の仕方を教えてもらったり、時にはねぎらいの言葉をかけてもらったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のお便りや面会時に、日々の様子を伝え、共に支え合っていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の行事に参加したり、利用者の行きつけ場所やふるさと訪問で、馴染みの方と触れ合ったりしている。外出や買い物時にも行きつけの場所に立寄りたりしている。友人や知人の方が面会に来てくれている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士で馴染みの関係が形成されていたり、その時の状況によって、スタッフが調整役となって関わっている。一人で過ごす時間を大切にしながら、孤立していないかを見極め、見守りを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約を終了しても面会したり、近況を聞かせて頂いたり、できるだけ継続した関わりが出来るように心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の関わりの中で、話の内容や表情から、できる限り本人の意向を把握するように努めたり、家族から情報を得たりしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居後も利用者に話を聞いたり、家族や知人等の面会時に少しずつ聞き取り、把握に努めている。また、利用者が話しやすい環境づくりとして、ふるさと訪問や馴染みの場所へ外出し、情報を得るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の生活を把握し、出来る事に着眼し、日々の状態の情報交換を密に行い、残存能力から潜在能力を引出す努力をしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の関わりの中でアセスメントを行い、本人、家族の要望や意向を聞き、職員間でモニタリングや意見交換を行い、介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別ファイルを活用し、食事や排泄など利用者の状態の変化を記録し、申し送りやミーティング、日誌を活用して情報を共有し、実践につなげている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者や家族の意向をもとに、看取りや医療連携体制を活かし、安心、安楽な生活が継続出来るように支援していく。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>公的な機関やボランティアに依頼したり、協力し合い、地域での生活が継続できるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に、利用者や家族、かかりつけ医と相談し、訪問診療に移行しているが、専門医に受診が必要な場合は、他の医療機関に受診しており、適切な対応ができるよう支援している。状態の悪い時などには常時医療機関との情報交換、受診を行い、健康管理に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携体制により、協力医療機関の看護師が週1回訪問している。日中の状態や疑問に思う所など書面にて提示し、指示を受けたり、情報交換に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院された際には、相談員と情報の共有、現在の状態の把握に努め、退院後の支援についても、注意事項などの確認を行い、病院との関係を築いている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に、重度化した場合の対応指針に基づき、事業所が対応出来るケアについて説明し、同意を得ている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修への参加を行い、スタッフ会で伝達しているが、訓練は行っていない。関連事業所内では、急変や事故発生時の対応などの勉強会を全スタッフ対象に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策マニュアルを作成し、年2回の避難訓練を実施している。		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフ会、ユニット会の時、気になった対応について話し合い、意識の向上に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が理解できる言葉で話しかけ意思決定ができるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが個人の状態等に配慮しながら対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みの洋服や化粧品を買いに出かけたりしている。理容は、家族の協力も得て利用者の望む店に行ったり、地域の訪問理美容を利用している方もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事作りにはそれぞれの得意分野で関わってもらえるように支援している。一緒に準備し一緒に食べることの楽しさを大切にし、支援している。</p>		
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事、水分の摂取量は、チェック表を用いて把握している。献立については管理栄養士の指導を受けている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の歯磨きの声掛けや個々に応じた援助を行っている。夜間は義歯を預かり保管している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄のサインやパターンを把握し、トイレ誘導を行い、トイレで排泄ができるように促している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>朝、コップ1杯の牛乳や冷水を飲み、下剤の服用が減り、自然便が多くなった。また、十分な水分飲用と運動、入浴時には腹部のマッサージを行うなど、便秘予防を心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>毎日入浴できる体制はとっており、拒否があれば無理強いはしないようにしている。</p>		
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中はできる限り活動参加を促している。疲れたときは休息できる環境を整えている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人別に薬の説明書をファイルにし、職員がいつでも確認できるようにしている。新しく薬が追加された時や内容が変わった時には副作用についても把握しスタッフ間でも共有している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>生活歴や現状の力を把握し、負担と感せず楽しむことが出来る程度の家事をお願いしたり、趣味や昔好きだった事柄、手芸や歌、踊りを楽しんでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	散歩を毎日の日課とし、希望時や声掛けで買い物などに出かけている。ドライブは、天気のいい時には出掛けられる体制をとっている。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	お金を所持する事で安心されている方もおり、家族と話し合い、いくらか持っている利用者もいる。主に事務所で管理しているが、いつでも買い物希望時や外出時に利用できるようにしている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	希望があれば電話を掛ける支援も行っている。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室の飾りは利用者も一緒に行い、季節の移り変わりを感じられる時間と空間の共有を心掛けている。光や明るさ、音に関しては、こまめに調整を行い、一人ひとり心地良い時間が過ごせるよう、配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	廊下の隅には長いすを設け、ベランダにはベンチを置き、準共用スペースとして活用しており、思い思いに過ごせるようにしている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	契約時に、出来るだけ自宅で使用していた馴染みのある家具や生活用品、思い出がある物の持込を依頼している。写真やアルバム、趣味の物を楽しめるよう、家族と共に工夫をしている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	様子観察を行い、問題になっていることを話し合い、少しでも自立した生活ができるようにしている。		

V アウトカム項目		ユニット名： (そよ風)	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない